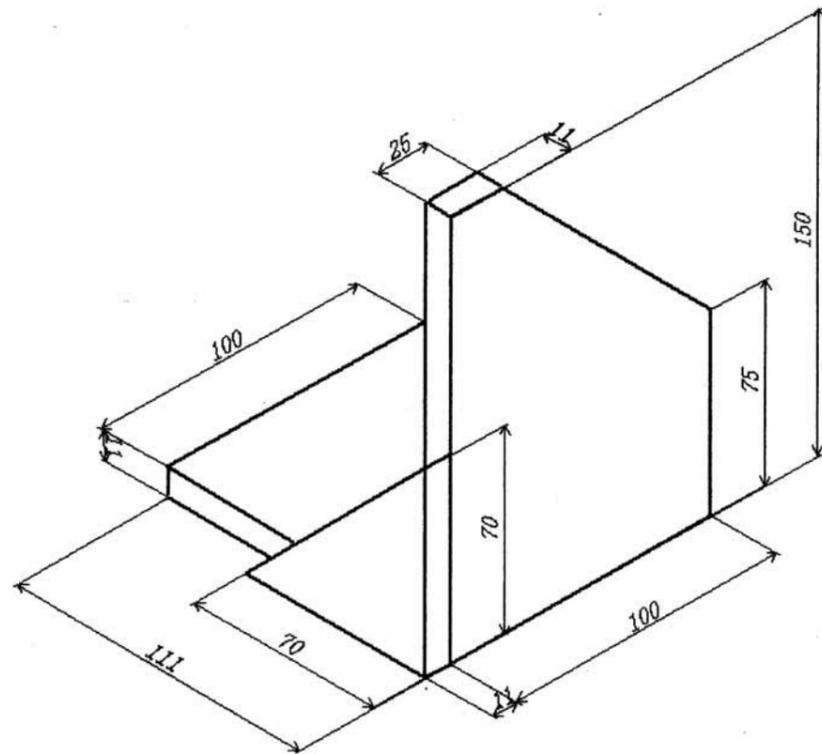


課題例1 「ブックエンド」(製作時間90分以内)

<第3回 全国中学生ものづくり競技大会 規定課題より>
 「長さ270mm幅105mm厚さ12mmの板材1枚」「真ちゅうくぎ長さ32mm10本」
 を用いて等角図に示されたものを製作する。全ての面をカンナがけする。各板材の接合部
 はくぎ2本をそれぞれ用いて接合する。(合計6本)
 ~使用可能な工具~
 ノコギリ、カンナ、ゲンノウ、四ツ目キリ、木口削り台、クランプ、さしがね又はスコヤ、
 くぎ抜き、釘締めなどの木工具



審査の観点

番	観 点	評 価
1	材料どり・けがきが正しくできる。	5 4 3 2 1
2	カンナがけ(木表 木裏 こぐち こば)がきれいにできる。	5 4 3 2 1
3	のこぎり引きが正確にできる	5 4 3 2 1
4	釘打ちが正確にできる。(キリの下穴あけも含む) (釘の位置, 釘の長さ, 打つ本数)	5 4 3 2 1
5	作品の出来ばえ (直角がでている)	5 4 3 2 1
6	作業の段取りや片付けがよい。	5 4 3 2 1

評価5：大変優れている。 評価1：基礎から学習しよう。

平成22年度

第11回全国中学生創造ものづくり教育フェア

めざせ! 「木工の技」チャンピオン部門

長野県 地区大会 要項



写真：第10回 全国中学生創造ものづくり教育フェアより
 出場生徒 豊丘中学校 木下裕太さん

主 催 長野県技術・家庭科教育研究会

全日本中学校技術・家庭科研究会

後 援 長野県教育委員会 信濃教育会

長野県木材青壮年団体連合会

期 日 平成22年7月31日(土) 8月1日(日)

会 場 浅間中学校 旭ヶ丘中学校 福花中学校 清水中学校

長野県技術・家庭科教育研究会 <http://www.gika.jp/>

1 日程

受付 開会式 8:30~
 競技(清掃・片付け) 9:00~12:00 **地区により時間が違います**
 閉会式(感想記入など) 12:00~12:30 解散

開会式 始めの言葉 審査員あいさつ 競技についての説明 連絡 終わり言葉	閉会式 始めの言葉 結果発表 表彰 審査員の講評 連絡 終わり言葉
---	--

2 競技内容 課題2「手桶」 地区代表を3名選考する。
 地区ごとに課題を決めます。

3 参加費(材料代) 300円

4 参加生徒名簿

番	氏名	学校名	年	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				

6 今後の予定

(1) めざせ!「木工の技」チャンピオン部門 地区大会

地区名	期日	会場	担当者	課題
東信地区	8月1日(日)	佐久市立浅間中学校	仲沢弘一	ブックエンド
南信地区	7月31日(土)	飯田市立旭ヶ丘中学校	大平亮治	ブックエンド
北信地区	7月31日(土)	長野市立裾花中学校	伊藤 靖	ブックエンド
中信地区	7月31日(土)	松本市立清水中学校	野澤重徳	手桶

(2) 県大会

部門	期日	会場	担当者	備考
木工	10月31日(日)	松本市立清水中学校	野澤重徳	県大会は自由題材 板材2枚使用
アイデア バック	10月31日(日)	松本市立清水中学校	中山千代子	10月1日までに豊科 南中へ作品送付。
お弁当コ ンクール	10月31日(日)	松本市立清水中学校	赤羽美和子	10月1日までに長野 東部中へレポート送付

(3) 関東甲信越大会

期日 平成22年12月5日(日)
 茨城県 堀原運動公園(茨城県武道場) 水戸市新原 2-11-1

(4) 第11回 全国中学生ものづくり教育フェア

期日 平成23年1月22日(土)~23日(日)
 会場 新木場 木材・合板博物館: 作品展示、木工、アイデアバック
 銀座中学校: ロボコン、パソコン 女子栄養大学: お弁当

課題例2 「手桶」 (製作時間 150分以内)

平成19年度長野県技術・家庭科教育研究会 中信地区研究大会 学習指導案より
 (三岳中学校技術・家庭科教科会・木曾郡技術・家庭科教育研究会)

材料 幅121mm 長さ900mm 厚さ12.5mmのヒノキ材 真鍮釘32mm20本

部品表

部品番号	品名	材質	仕上がり寸法(例)	数量
	後板	サワラ	12×120×280	1
	前板	サワラ	12×120×150	1
	底板	サワラ	12×120×120	1
	側板	サワラ	12×96×150	2

キャビネット図

